

🌸🌸🌸 「宝の花を咲かせよう！」 🌸🌸🌸

宝江地域づくり計画



作品「雲ともみじ」
宝江小学校4年 佐々木優介君

宝江コミュニティ運営協議会
宝江地域づくり計画策定委員会
平成27年3月

目 次

第1章 地域の概要	
■宝江地域の概要	2
■地域づくり計画策定の目的	3
■人口等の推移	4
第2章 計画の策定	
■計画策定の経緯	6
■スローガンとキャッチフレーズ	8
■キャッチフレーズを行動に！	9
第3章 アンケートの結果	
■あなたについて	11
■必要な取り組みについて	12
■自由意見アラカルト	13
第4章 資料編	
■視察研修（丸森町筆甫地区）	15
■ワークショップ	16

＝はじめに＝

宝江コミュニティ運営協議会では、平成26年度「地域づくり計画」として、より良い宝江地域を考えるための計画づくりに取り組みました。これは、自分たちの地域について多くの人が話し合い、良いところや課題を再発見し、その課題の解決策を見つけ、宝江地域に『**宝の花を咲かせよう！**』というまちづくり計画でもあります。

7月に「宝江地域づくり計画策定委員会」を立ち上げ、10行政区より選ばれた41名の策定委員とともに7回に亘る策定委員会を開催し、先進地視察研修（丸森町）も行いました。

アンケート調査等で皆さん方からいただいた意見を集約・分析し、大切に活用させていただきました。次年度以降の具体的な取り組みに生かせるよう努力して参りたいと存じます。

終わりにになりましたが、夜の会議にも関わらず何度もご参加いただいた策定委員の皆さん、アンケート調査にご協力いただいた地域の皆さんに感謝いたしますとともに、アドバイザーとしてご指導いただいた特定非営利活動法人まちづくり政策フォーラムの足立先生、支援員としてご協力いただいた登米市企画部市民活動支援課石崎主査、中田総合支所市民課加藤主幹兼係長、とめ市民活動プラザの佐藤マネージャーに御礼を申し上げます。ありがとうございました。

宝江コミュニティ運営協議会 会長 及川 義雄

第 1 章 地域の概要

■ 宝江地域の概要

宝江地域は平成 27 年 1 月現在、人口 2,965 人、世帯数は 888 世帯、登米市のほぼ中央部に位置し、緑豊かな穀倉地帯であり田園風景が広がっています。宝江地区は 10 行政区から成り、一部を除き、いずれの行政区も少子・高齢化の傾向にあります。社会資本の整備は比較的進んでおり、現在、南部地区で下水道工事が行われています。三陸道と連結する県北高規格道路が整備中であり、完了後は交通体系に大きく影響がでくると考えられます。

地域の産業は農業が中心であり、水稻、施設野菜、花き、畜産が盛んな地域となっており、中央部には、製造業を営む企業も立地しています。

○宝江コミュニティの歴史

運 営 主 体	宝江コミュニティ運営協議会
組 織 と 構 成	26 の組織と団体等で構成 4 つの部会を設置 ~ 総務部、文化部、女性部、体育部 行政区 ~ 蓬原、十文字、東、町、館、神畑、森六荒谷、柴六、並柳、下道
沿 革	昭和 31 年 4 月 石森町、宝江村、上沼村、浅水村が合併し 中田町となる 昭和 32 年 4 月 中田町立宝江公民館となる 昭和 56 年 7 月 宝江コミュニティ運営協議会設立 平成 元 年 1 月 宝江ふれあいセンター（本館）竣工、平成 16 年 一部改装 平成 13 年 3 月 公民館機能の見直し(自主運営化) 平成 17 年 1 月 多目的ホール竣工 平成 17 年 3 月 宝江コミュニティ運営協議会が宝江ふれあいセ ンターの指定管理者となる 平成 17 年 4 月 9 町合併して登米市となる 平成 26 年 4 月 指定管理者 3 度目の更新 (平成 26 年 4 月 1 日~平成 31 年 3 月 31 日)
主 な 施 設	中田幼稚園、宝江小学校、中田中学校、宝江郵便局、佐沼警察署中 田交番、JA 宝江支店、介護福祉施設等、各行政区の集会施設
安 全 対 策	交通安全協会宝江支部、消防団、婦人防火クラブ、交通指導隊、防 犯指導隊、各行政区自主防災組織
取 組 状 況 等	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習活動 長生大学、女性講座、生き生き教室、小学生対象 事業、大自然に親しんでみま専科、男の料理教室、 郷土史愛好会、俳句教室等 ・社会体育活動 宝江ふるさとスポーツまつり等 ・地域連帯感を高める事業 コミュニティまつり、新春懇談会等

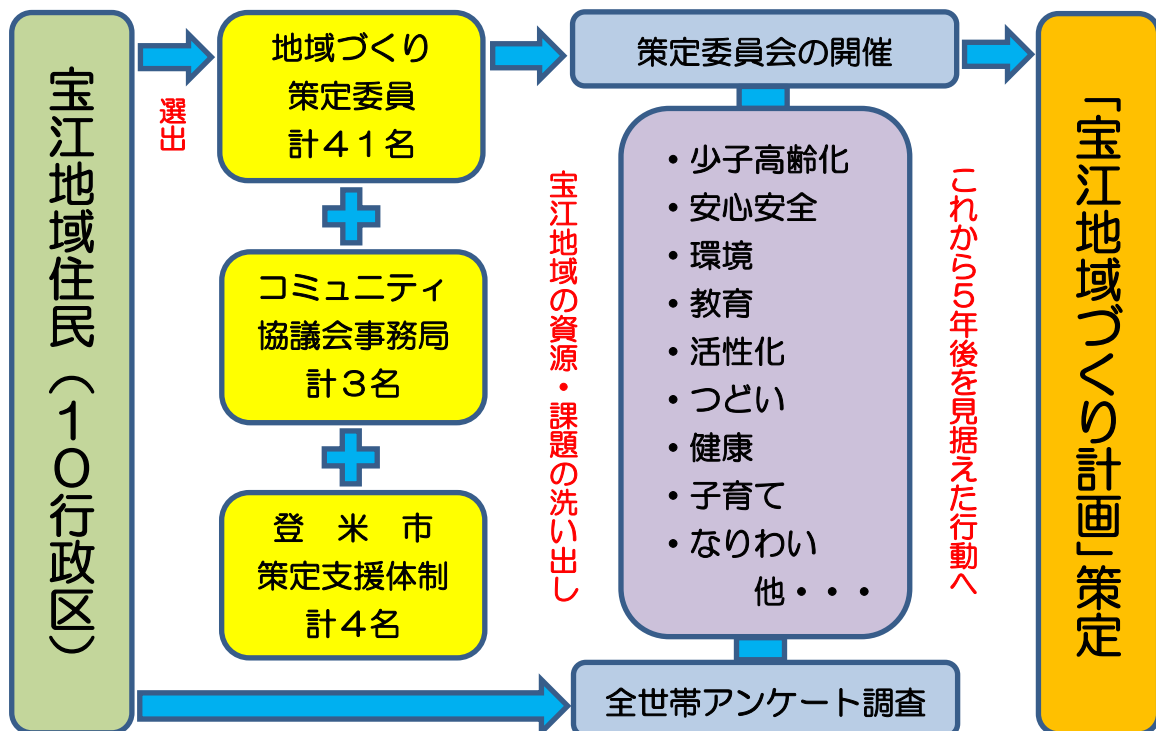
■地域づくり計画策定の目的

平成 24 年 4 月に施行された「登米市まちづくり条例」は、市民が主体のまちづくりを推進するための市民の権利と、市民・市・議会の役割を明確にしながら、皆で住みよい地域社会の実現を図ることを目的にしています。

合併以前の中田町では早くから他町域に先駆けて住民主体のコミュニティの形成が図られており、昭和 56 年 7 月には「宝江コミュニティ運営協議会」が設立されました。さらに合併年となる平成 17 年 3 月には当運営協議会が「宝江ふれあいセンター」の指定管理者となり自主管理・運営を行い、生涯学習活動や地域活動の拠点としての役割を担ってきました。

協議会設立後 33 年、ふれあいセンター管理者になり 10 年が経過し、社会環境も宝江地域も大きく変化しました。益々小規模傾向が予想される行政サービスに対応すべき、安心安全で住みよい暮らしを守るため、住民主導のまちづくりが求められており、多くの分野に即した事業の創造が必要となっています。それには、住民自らが計画づくりの段階から参加し、多くの意見や想いを集め、多くの人達の話合いが重要となり、「宝江」ならではの、特色ある楽しい事業の展開につなげることを目的とします。

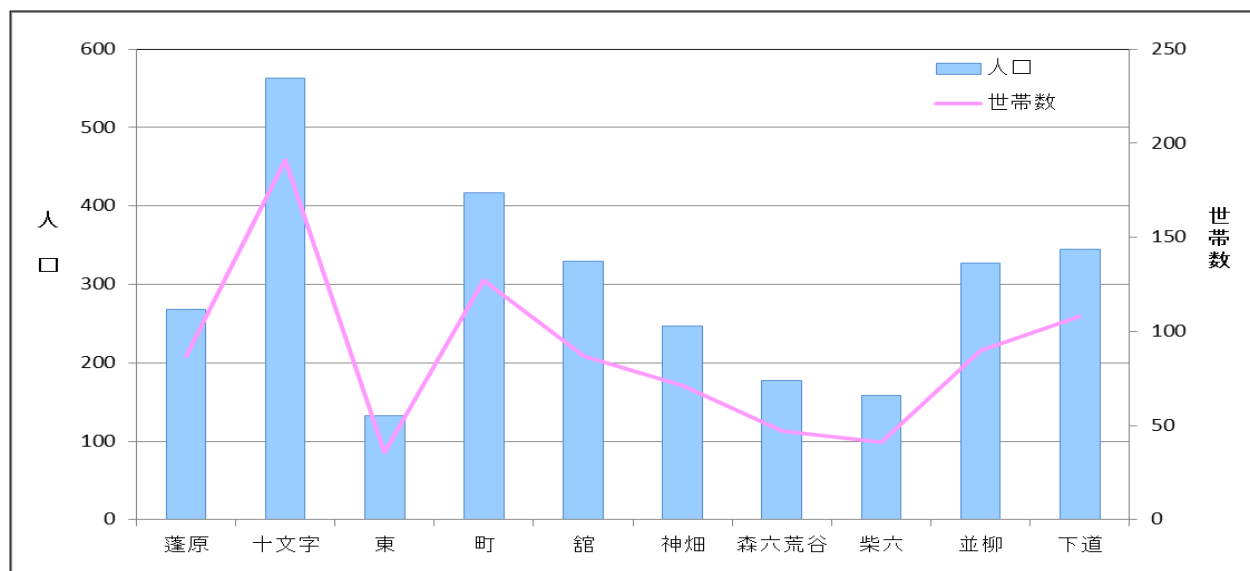
多くの人たちが「地域づくり計画」に取り組むことにより「人と人がつながる地域コミュニティ」が一層進むことを期待します。



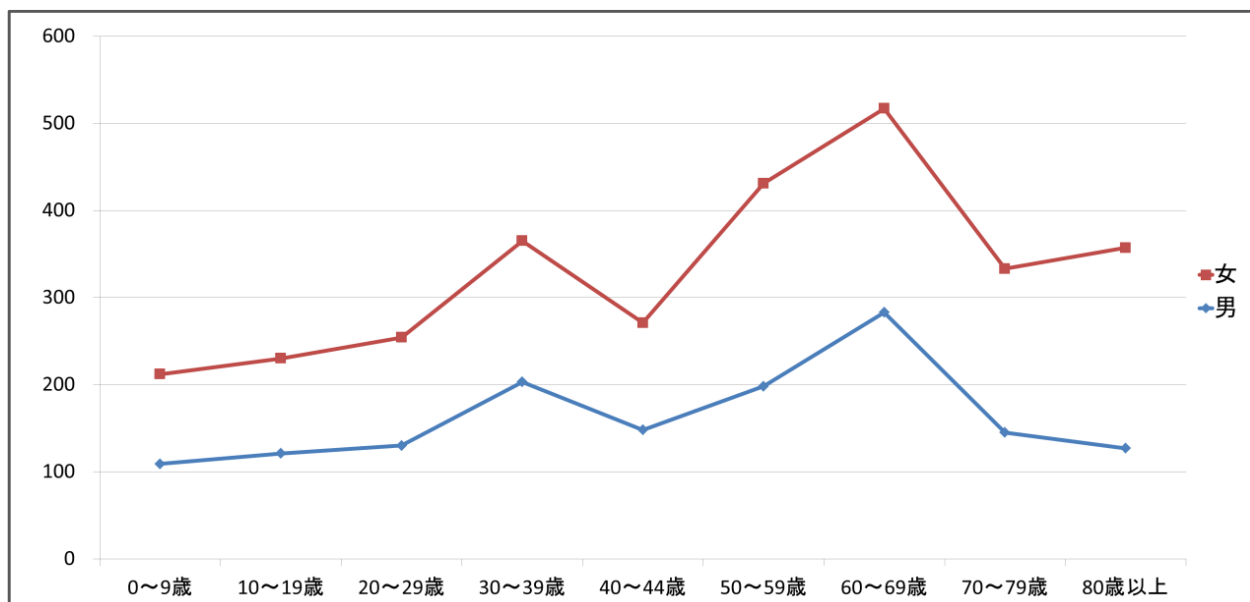
◎行政区別の世帯数と人口の推移

行政区名	世帯・人口別	平成18年3月	平成21年3月	平成22年3月	平成23年3月	平成24年3月	平成25年3月	平成27年1月
蓬原	世帯数	78	73	78	80	83	79	87
	人口	268	249	261	253	263	254	268
十文字	世帯数	173	184	192	187	195	196	192
	人口	545	557	575	571	583	571	563
東	世帯数	35	35	35	35	36	36	36
	人口	156	150	144	144	144	136	133
町	世帯数	126	120	121	122	123	126	127
	人口	445	409	411	412	411	422	417
館	世帯数	91	94	91	87	89	89	87
	人口	350	333	334	336	335	332	330
神畑	世帯数	65	61	61	64	67	68	71
	人口	242	238	237	239	242	246	247
森六荒谷	世帯数	47	48	49	49	49	49	48
	人口	215	201	213	199	186	186	177
柴六	世帯数	40	40	40	40	40	39	41
	人口	182	166	165	170	166	162	158
並柳	世帯数	94	91	92	92	94	89	91
	人口	389	362	346	337	340	336	327
下道	世帯数	102	106	105	104	105	106	108
	人口	401	401	391	377	360	352	345
「宝江」計	世帯数	851	852	864	860	881	877	888
	人口	3,193	3,066	3,077	3,038	3,030	2,997	2,965

◎行政区別人口と世帯数の比較 <平成27年1月現在>

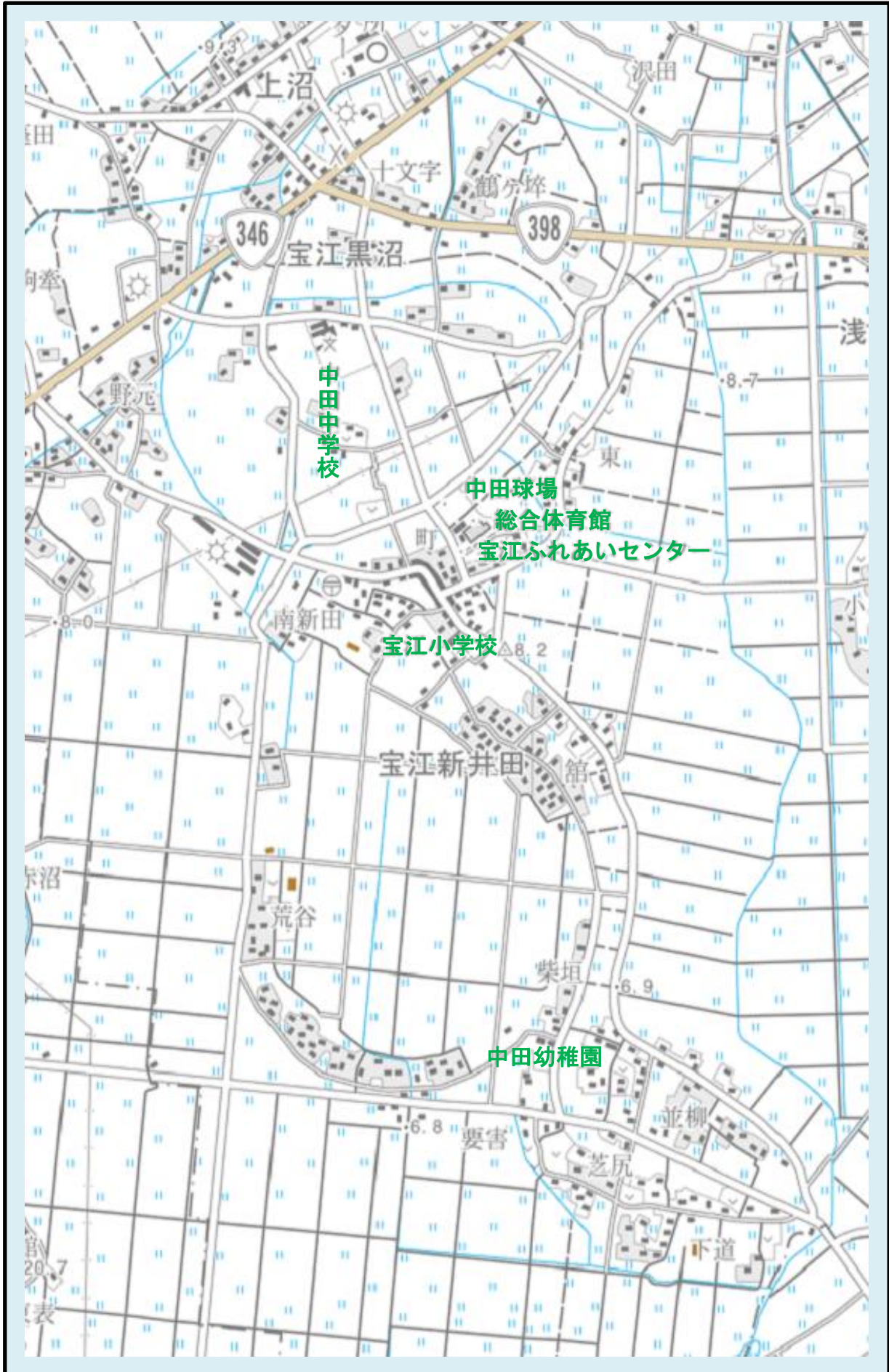


◎宝江地区年代別男女比の人口の現状 <平成27年1月現在>





宝江地区マップ



第2章 計画の策定



計画策定の経緯



日付	事業	内容	参加者数
8月19日	第1回事務局打合せ会	アンケートに関する検討会	4名
8月26日	第1回策定委員会	辞令交付 アンケートの内容・視察研修会の説明	42名
9月11日	視察研修会	丸森町筆甫地区視察	24名
9月18日	第2回事務局打合せ会	アンケートの集計	4名
10月3日	第2回策定委員会	アンケートの結果について	33名
11月6日	第3回策定委員会	テーマ別にグループ分けをし、 小見出しの作成	30名
11月19日	第4回策定委員会	グループごとに討議 (要望・主体・協働)	29名
11月21日	第3回事務局打合せ会	協議内容検討会	4名
12月2日	第5回策定委員会	事業化したいことの決定	29名
12月16日	第6回策定委員会	アクションプランの作成 スローガンの検討	24名
1月20日	第7回策定委員会	スローガンの決定 計画書について	26名
2月17日	第4回事務局打合せ会	計画書の作成について①	3名
2月25日	第5回事務局打合せ会	計画書の作成について②	3名
3月11日	第6回事務局打合せ会	計画書の作成について③	4名



宝江地域づくり計画策定委員会委員名簿



行政区	氏名	部会	備考	
蓬原	畠山 道也	ふれあい		
	伊藤 秀昌	集い		
	浅野 武男	集い		
	浅野 喜代子	住みよい環境		
十文字	田島 幹雄	住みよい環境	策定副委員長	
	菊池 健一	集い		
	高橋 武比古	安心・安全		
	日下 由美	集い		
東	千葉 光夫	集い		
	佐々木 和人	安心・安全		
	千葉 清孝	住みよい環境		
	熊谷 美知恵	ふれあい		
町	千葉 繁	ふれあい		
	佐藤 友昭	安心・安全		
	熊谷 義行	住みよい環境		
	小竹 ますえ	集い		
館	及川 義雄	集い	策定委員長	
	及川 涼太	安心・安全		
	新井 美智子	住みよい環境		
	畑山 とし子	集い		
神畑	佐々木 美德	安心・安全		
	佐藤 直樹	住みよい環境		
	佐々木 茂	ふれあい		
	菊澤 恵美	安心・安全		
森六荒谷	今野 美喜夫	ふれあい		
	佐藤 優	住みよい環境		
	菱沼 久之	集い		
	及川 とし子	ふれあい		
柴六	千葉 孝彦	住みよい環境		
	千葉 翔	ふれあい		
	千葉 健一	安心・安全		
	千葉 重美	安心・安全		
並柳	千葉 長壽	集い		
	中村 和弥	ふれあい		
	千葉 克明	ふれあい		
	千葉 愛子	安心・安全		
下道	五十嵐 和雄	ふれあい		
	三浦 竜也	住みよい環境		
	五十嵐 隆司	安心・安全		
	五十嵐 和枝	住みよい環境		
副会長	菊澤 ふき子	ふれあい	策定副委員長	
アドバイザー	特定非営利法人 まちづくり政策フォーラム 理事		足立 千佳子	
支援	中田総合支所市民課 主幹兼係長		加藤 孝二	
	とめ市民活動プラザ マネージャー		佐藤 幸広	
事務局	事務局 (宝江コミュニティ運営協議会)		センター長	阿部 力郎
			事務員	辺見 恵美
			事務員	鈴木 和也

全世帯で実施したアンケートを基に策定委員皆さんの声を集めて、
これから「地域づくり」を行っていく宝江地区の『合言葉』です！

☆宝江地域づくりスローガン☆

『宝の花を咲かせよう!』

☆宝江地域づくり4大キャッチフレーズ☆

(宝江)

1. **宝エネルギー** (部会：ふれあい)

～健康寿命を伸ばし元気に生きる地域を目指そう!～

(宝江)

2. **宝エコロジー** (部会：住みよい環境)

～自然を大切にし住みたくなる地域を目指そう!～

(宝江)

3. **宝エンジョイ** (部会：集い)

～楽しい交流や集いが充実した地域を目指そう!～

(宝江)

4. **宝エブリー** (部会：安心・安全)

～家族も近所もみんなを守る地域を目指そう!～

【キャッチフレーズ毎の課題・要望を行動につなげて①】

1. 宝エネルギー (部会：ふれあい)

～健康寿命を伸ばし元気に生きる地域を目指そう！～

課題・要望等	対策・行動	いつ頃
高齢者とのふれあい	娯楽の場の提供、サークル活動推進	すぐに
ひとり暮らしの高齢者の増加	見守りマップ作成、見守り部隊結成 お茶飲み会、ミニデイの活用	すぐに
介護を必要とする方や ご家族への支援	介護講座や認知症講座の開催 家族相談会や交流会の開催	すぐに
子育て世代への支援	子育て相談会や交流会の開催 子どもの遊びスペースの提供	1年後～
結婚活動への支援	交流イベントの開催	5年後～
出生数の減少	地域からのプレゼント、お祝い会	1年後～

2. 宝エコロジー (部会：住みよい環境)

～自然を大切にし住みたくなる地域を目指そう！～

課題・要望等	対策・行動	いつ頃
ポイ捨てゴミの増加	ポイ捨ての多い場所の情報収集 禁止看板の設置	すぐに
ゴミ出しルールの徹底	センターだよりで分類の仕方等発信	すぐに
花いっぱい運動	運動内容と設置場所の再検討	すぐに
空き家等の増加	情報収集し危険箇所把握	1年後～
荒地の増加	情報収集し活用方法の検討会設置	3年後～
害虫対策	早期駆除⇒機器購入・作業部隊検討	1年後～

【キャッチフレーズ毎の課題・要望を行動につなげて②】

3. 宝エンジョイ (部会：集 い)

～楽しい交流や集いが充実した地域を目指そう！～

課題・要望等	対策・行動	いつ頃
館神楽の伝承	衣装の整備、映像化、公演活動	すぐに
地域リーダーの育成	PTA と連携した事業の実施	1年後～
地域情報の発信不足	ふれあいセンターだよりの充実 ホームページ等の製作検討	3年後～
ニュースポーツの推進	ユニカール等のイベントの開催	すぐに
世代間交流不足	子どもから高齢者が参加しながら 地域に役立つ事業の実施	すぐに
若者を引きつける活動	宝江発のイベントを開催し、地域内 外の若者が交流出来る場を設ける	1年後～

4. 宝エブリー (部会：安心・安全)

～家族も近所もみんなを守る地域を目指そう！～

課題・要望等	対策・行動	いつ頃
地域防災活動	コミュニティ訓練や研修会の開催	すぐに
自主防災組織への支援	装備・保管品の確認・訓練の協力	1年後～
防災無線の整備	難聴地域の情報収集	5年後～
通学路の安全確保	危険個所の情報収集⇒看板や防犯灯 の設置、情報発信	3年後～
子どもの見守り	防犯や犯罪情報を発信	すぐに
振り込め詐欺対策	講習会の開催、防犯情報の発信	すぐに

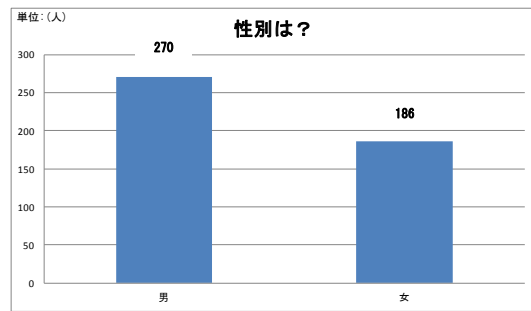
第3章 アンケートの結果

アンケート結果

◎あなたについて

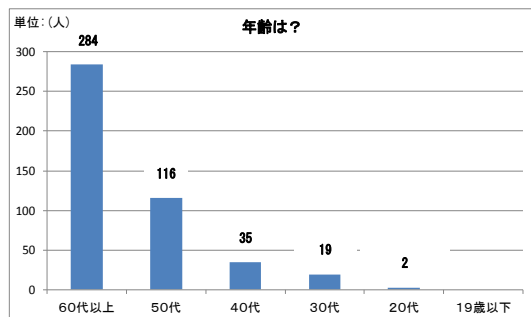
<性別は？>

(順位)		(人数)	(構成比)
1	男	270	59.2%
2	女	186	40.8%



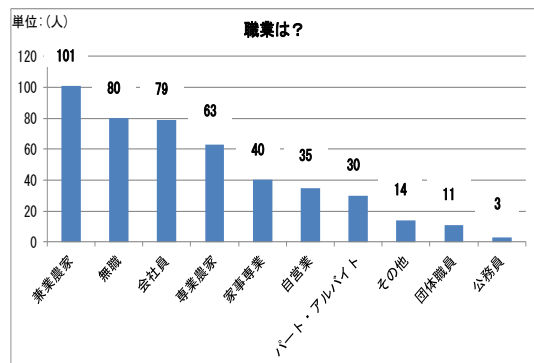
<年齢は？>

(順位)		(人数)	(構成比)
1	60代以上	284	62.3%
2	50代	116	25.4%
3	40代	35	7.7%
4	30代	19	4.2%
5	20代	2	0.4%
6	19歳以下	0	0.0%



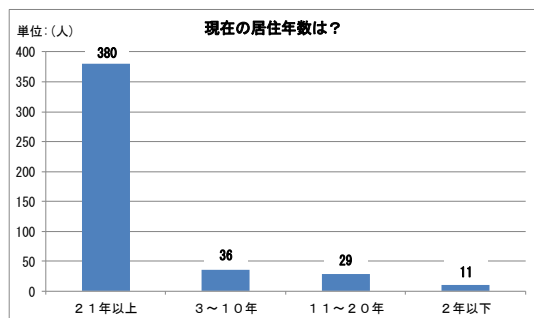
<職業は？>

(順位)		(人数)	(構成比)
1	兼業農家	101	22.1%
2	無職	80	17.5%
3	会社員	79	17.3%
4	専業農家	63	13.8%
5	家事専業	40	8.8%
6	自営業	35	7.7%
7	パート・アルバイト	30	6.6%
8	その他	14	3.1%
9	団体職員	11	2.4%
10	公務員	3	0.7%



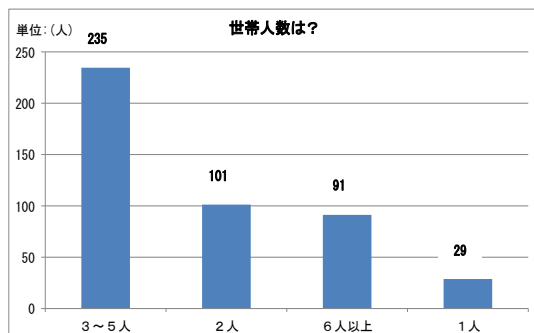
<現在の居住年数は？>

(順位)		(人数)	(構成比)
1	21年以上	380	83.3%
2	3～10年	36	7.9%
3	11～20年	29	6.4%
4	2年以下	11	2.4%



<世帯人数は？>

(順位)		(人数)	(構成比)
1	3～5人	235	51.5%
2	2人	101	22.1%
3	6人以上	91	20.0%
4	1人	29	6.4%



◎宝江地域において必要な取り組みについて

<コミュニティ組織、人づくり>

(順位)		(人数)	(構成比)
1	コミュニティ活動	206名	21.3%
2	地域の情報発信	168名	17.4%
3	祭り・イベントの見直し	118名	12.2%
4	ボランティア活動	112名	11.6%
5	ふれあいセンターの活用	97名	10.0%
6	人材発掘	89名	9.2%
7	学校との連携	62名	6.4%
7	女性が活躍できる場づくり	62名	6.4%
9	サークル活動	52名	5.4%

<環境、福祉、社会インフラ整備、防犯、防災>

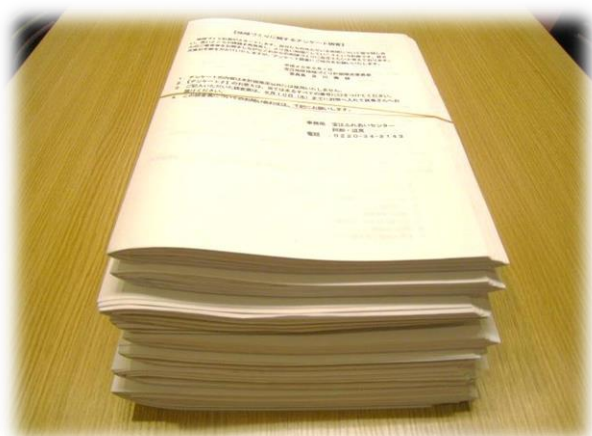
(順位)		(人数)	(構成比)
1	若者の定住促進	208名	12.1%
2	道路・歩道の整備	163名	9.5%
3	健康維持対策	148名	8.6%
4	介護相談	140名	8.1%
5	排水路等の整備	126名	7.3%
6	高齢者の1人世帯	97名	5.6%
6	地域での子供の見守り	97名	5.6%
8	きれいなまちづくり運動	95名	5.5%
9	自主防災組織との連携	92名	5.3%
10	結婚相談	86名	5.0%
11	ごみの減量化、リサイクル	83名	4.8%
12	交通安全対策	80名	4.6%
13	空き家対策	79名	4.6%
14	住民バスの利便性	69名	4.0%
15	公園・広場の遊具の整備	52名	3.0%
16	ミニデイサービスの充実	48名	2.8%
17	子育て相談	39名	2.3%
18	障がい者(児)との関わり	21名	1.2%

<文化財、歴史、スポーツ>

(順位)		(人数)	(構成比)
1	歴史・文化財の保全	227名	34.3%
2	スポーツ団体の充実	115名	17.4%
3	神楽等の伝承活動	97名	14.7%
4	文化団体の充実	95名	14.4%
5	ニュースポーツの推進	83名	12.5%
6	国際交流	45名	6.8%

<農業、就労、観光>

(順位)		(人数)	(構成比)
1	地域特産品の提供	152名	21.6%
2	農産物栽培の指導	143名	20.3%
3	直売所の設置	129名	18.3%
4	既存の製造加工業との連携	114名	16.2%
5	地域資源活用の体験ツアー	95名	13.5%
6	市民農園	71名	10.1%



今回多数のアンケートのご協力を得ることができました。ありがとうございました。皆さんからいただいた声を一つ一つ大事に取り組んでまいりますので、これからもご協力よろしくお願いいたします。



自由意見アラカルト



若者を引きつける
魅力あるイベント等の開催。

新しい定住者が
「来てよかった」
と思える地域づくりをし、
人口が増えていけば
良いと思う。

通学路の街灯整備・
安全の確保を考えて
ほしい。

隣近所の交際を気軽に
できるような取組みを
密にし、老人家庭が多く
なっているので見守り
部隊を編制してほしい。

地域の繋がりは人と人との多くの
ふれあいから、地域コミュニティは
若い人材の登用とスムーズな世代
交代から。

宝江地区で祭りや
スポーツの集いを開催し
老若男女の絆を強く
できたらと思う。

民俗芸能人々の伝統的な
生活文化の伝承に力を…。

一人暮らしの方々が
増えてきているので
地域の方々との
ふれあいを多くする
対策が必要。

若い人が住み、結婚し、
子育てが楽しい町づくりが
必要。近所づきあいが
薄れてきている。

子供たちが喜べる祭り等
の企画をしてはどうか。

農業においては、特産物を
創造し、他地域との差別化を
計ってみてはどうか。

未婚の男女の交流の場を企画してほしい。みんなで意見を出し合って、宝江地区の特色ある行事を計画してほしい。
(老若男女触れ合えるもの)

畑への方向性が示されていない。現在は高齢者が働いていることが多く、このままでは荒れ放題になってしまうのではないかと心配。産直市場などの設置をしてほしい。

過疎化が心配。若者と一緒に生活ができる地域にしてほしい。

市道へのゴミの投げ捨てが目立つ。何らかの対策が必要だと思う。

部落の集会所にみんなで集まって、お茶飲み等ができればいいと思う。

介護ストレスを発散する会を開催してほしい。

歴史、文化財、神楽等の保全。次世代に言い伝えるためにも、保全団体を明確にして活動。

仕事をしている若い母親の支援をしていきたい。

新井田地区の公園の整備が必要。加賀野と比較すると格段の差がありすぎる。

地域づくりの原点は、各行政区の活性化が大切。

昭和時代に学んだいろいろなことを、今の子供達にも必要なのではないか。

高齢者を中心とし、園児から小・中学生を対象とした体験・知識を生かしたコミュニケーション活動。
(歴史や伝承の昔話・物づくり教え)



視察研修会 丸森町筆甫地区



9月11日（木）
まだ夏の暑さが残る中、丸森町役場にて丸森町筆甫地区が取り組んでいるまちづくりについてお話を聞きました。



説明していただいたのは筆甫地区振興連絡協議会事務局長の吉澤武志さん。
「自然の恵み・人のつながり・悠々のふるさと 筆甫」をスローガンとした取り組みについてお話をいただきました。



今回、参加したのは全員で23名。
皆真剣に話を聞きながらメモを取るなどして、宝江地区の地域づくり計画を成功させるために勉強をしてきました。



ワークショップ



8月26日(火)

及川義雄コミュニティ会長の挨拶。
宝江地域づくり計画がスタートしました。



宝江地域づくり計画策定委員は各行政区
から4名を選出。第1回策定委員会にて
辞令交付を行いました。



特定非営利活動法人
まちづくり政策フォーラム理事
アドバイザー 足立千佳子先生

策定委員会では「ふれあい」「住みよい
環境」「集い」「安心・安全」の4部会
にて話し合いを行いました。



毎回会議には大勢の策定委員が出席し
どうすれば宝江地区がより良い地域に
なるかを話し合いました。



ワークショップではカラーペンや付箋などを使い、見やすく、わかりやすくそれぞれの意見をまとめました。

なかなか思うようにまとまらない時もありましたが、中田総合支所市民課の加藤係長ととめ市民活動プラザの佐藤マネージャーのサポートもあり、みんなで一丸となり計画をまとめていきました。



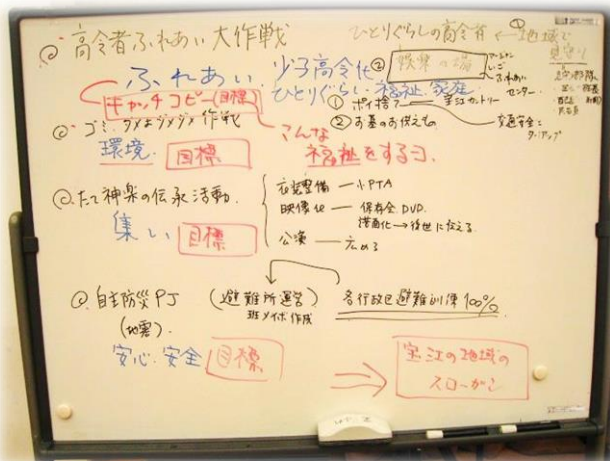
ワークショップの後は、部会ごとにまとめた内容の発表です。数多くの意見を聞くことができるいい時間となりました。



策定委員は年齢、職種様々です。それによって、より幅広く意見を聞くことができました。



策定委員会を重ねるごとにそれぞれの部会の目標や宝江地区に必要なことが明確になり、話し合いにも自然と熱が入っていきました。



夏に始まった地域づくり計画も
気が付けばもう 12 月。
そろそろまとめの作業です。



作業で使用した用紙です。
みんなで意見を出し合い、
1 枚の紙に書き出しながら
まとめていきました。

項目	意見	賛成	反対	その他	備考
① 宝エネルギー 健康寿命を伸ばして元気に生きろ 地域目標ろう!		○	○	○	
② 宝エコロジー 自然と大切にし住みたくする地域目標ろう!		○	○	○	
③ 宝エンjoy 楽しい交流や集いが充実した地域目標ろう!		○	○	○	
④ 宝エブリー 家族も近所もみんなが守る地域目標ろう!		○	○	○	

そして、沢山の案の中から
スローガンが決定しました。

足立先生のアドバイスのもと無事に
まとめることができました。
ありがとうございました。



策定委員の皆さん、
大変お疲れ様でした。



「宝の花を咲かせよう！」



作品「すべすべまんじゅうガニの家」
宝江小学校3年 及川桃子さん

宝江コミュニティ運営協議会

(宝江ふれあいセンター内)

住 所：宮城県登米市中田町宝江黒沼字浦 38-3

TEL：0220-34-2143

メール：takarae@ec5.technowave.ne.jp